

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.6

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市税徴収率向上対策事業	担当部署	企画総務部 税務課			
総合計画体系				根拠法令計画など	国税徴収法、地方税法、鳴門市賦課徴収条例			
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成	13 年度	
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと				終期	未定	
(小項目)		行財政運営						
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進						
基本事業	2	財政の健全化						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input checked="" type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要(PLAN)

目的	主要財源の安定的な確保及び税負担の公平性確保を目的とする。		事業内容(R1)	①徳島滞納整理機構との連携や滞納処分の早期着手、現年度収入未済額の早期回収などにより、滞納繰越額の圧縮を進める。 ②口座振替の周知を行うなど口座振替加入率向上へ向けた継続的な取り組みを実施する。 ③未課税家屋について調査を進める。				
実施方針	①納税義務者が市税を完納し、税負担の公平性を保つ。 ②税収が確保された状態を目指す。			当初からの変更点	△781(令和元年度3月補正)			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	現年度収入未済額	83,416	59,539	100,000	100,000	100,000	千円
	2	口座振替件数	52,311	51,805	53,000	53,000	53,000	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	市税徴収率(現年+滞繰)		95.5	93.6	93.8	94.0	94.2	%

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	継続

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	15,923	△ 781	15,142	9,214	9,214

事務事業名	市税徴収率向上対策事業
-------	-------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		①未納者に対し早期納付を促す目的として、市税徴収員の個別訪問による納付催告を実施した。滞納整理では、税務調査による担税力の把握、その後の催告等によってもなお、納付に応じない者への滞納処分を実施した。また、高額・悪質案件については徳島滞納整理機構と連携し未済額の回収に努めた。 ②未課税家屋調査について、年次計画を基に調査を行い、課税を行った。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	現年度収入未済額	59,539	73,145	100,000	100,000	100,000	千円
	2	口座振替件数	51,805	50,089	53,000	53,000	53,000	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	市税徴収率(現年+滞繰)		96.6	96.0	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			102.3	—	—	—	%
事業費推移 (円)	年度		令和元年度決算					
			平成30年度決算	前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		10,135,636	0	13,314,258	0	13,314,258	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		10,135,636	0	13,314,258	0	13,314,258		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	市税徴収率(現年+滞繰)		成果指標に対する所見	取り組み目標を達成し、近年の県内8市の市税徴収率と比較しても、高い水準を維持、達成できていると考える。		
	目標	93.8	%				
	実績	96.0	%				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も、現年度収入未済額を着実に減少させるとともに、滞納繰越額の更なる圧縮を図っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	現年度の未納をできるだけ減らし、当年度内で完納となる取組みをさらに進める。具体的には、税務調査により納税者の担税力を把握し、早期に滞納処分を実施し未済額の回収に努める。			
	令和3年度	現年度の未納をできるだけ減らし、当年度内で完納となる取組みをさらに進める。具体的には、税務調査により納税者の担税力を把握し、早期に滞納処分を実施し未済額の回収に努める。			